

連携だより

令和7年 **7** 月号

令和7年7月1日発行

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター
地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1
0823-22-3111(代)

紹介予約専用

TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します

7月の花 アサガオ



今月号のトピックス

- 『ビグアナイド系薬中止連絡票』の用紙変更のお知らせ 1
- 6月 特別講演開催しました 2
- 6月 定期講演開催しました 3
- がんサロンだより 4
- 第55回 広島県断酒（呉）大会へ参加しました！ 6
- 連携病院紹介 7

『ビグアナイド系薬中止連絡票』の用紙変更のお知らせ

造影検査時に用いる『ビグアナイド系薬中止連絡票』の用紙変更のお知らせ

平素より呉医療センター放射線科造影検査の運用に、ご理解・ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

この度、造影検査時に用いる『ビグアナイド系薬中止連絡票』の記載内容に関して分かりにくい部分があるとのことご指摘を受け、一部内容を変更致しました。（見本資料あり）

なお、運用面に関しましては今までと変更点はありません。

今後も放射線科造影検査の運用に、ご理解・ご協力の程どうぞ宜しくお願い致します。

6月 特別講演開催しました



広島大学大学院
医系科学研究科
循環器内科学
教授
中野 由紀子先生

地域医療研修センター 特別講演会

2025年6月6日（金） 特別講演会を開催しました

広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学 教授 中野 由紀子先生に
「不整脈診療 Up to Date」と題されまして、最新の不整脈診療について動画
を用いて分かりやすくご講演いただきました。（以下抄録より）

近年、不整脈診療は急速に進歩している。一番の最新トピックスは新しいエネルギーのパルスフィールドアブレーションで、近年高齢化に伴い増え続けている心房細動のアブレーションの大きな選択肢の一つとなることになった。当院が力を入れている、心房細動の早期発見、左心耳マネージメントとして左心耳閉鎖デバイスや胸腔鏡下左心耳閉鎖術、左心房のリモデリング・歯周病と心房細動の関連・遺伝性不整脈などの研究、左心機能低下を伴う房室伝導障害患者さんに対する刺激伝導系ペーシングについて述べられた。



前列 左から：救命救急センター部長 岩崎 泰昌、石井外科診療所 石井 尚子先生、院長 繁田 正信
広島大学大学院 医系科学研究科 循環器内科学 教授 中野 由紀子先生
循環器内科科長 杉野 浩、循環器内科医長 木下 晴之
後列 左から：循環器内科医師 木村 圭汰、齊藤 美聖、政田 賢治、住元 康二、児玉 将司



広島大学大学院
医系科学研究科
循環器内科学 教授
中野 由紀子先生



座長
循環器内科科長
杉野 浩



質疑応答
院長
繁田 正信



質疑応答
呼吸器外科科長
三村 剛史



質疑応答
循環器内科医師
児玉 将司



質疑応答
循環器内科医師
住元 庸二



質疑応答
循環器内科医師
政田 賢治



質疑応答
循環器内科医師
木村 圭汰



質疑応答
循環器内科医師
齊藤 美聖



会場風景

6月 定期講演開催しました



眼科科長
望月 司

2025年6月18日（水）定期講演会を開催しました

眼科科長 望月 司 先生に（第一部）ケーススタディ眼科救急入門／（第二部）当院における手術加療と題されまして、外傷に伴う緊急性の高い疾患や白内障の治療画像など分かりやすくご講演いただきました。（以下抄録より）

第一部・第二部ともに、普段は眼科診療に関わる機会の少ない医療関係者の方々を主な対象としました。

第一部では、緊急性の高い眼科疾患について、演者が作成したモデルケースをもとに紹介しました。特に、外傷や他科疾患に続いて発症する可能性のある疾患を多く取り上げており、救急の現場で遭遇することも想定される内容です。

第二部では、当院で実施している眼科手術について、実際の手術動画を交えながらご紹介しました。



左から：視能訓練士 粟崎 宏文、研修医 西村 麻里、
森藤医院院長 森藤 清彦先生、外科科長 清水 洋祐、
眼科科長 望月 司、副院長 田代 裕尊



会場風景



演者
眼科科長
望月 司



座長
外科科長
清水 洋祐



質疑応答
副院長
田代 裕尊



質疑応答
研修医
上田 周作



5月のがんサロンは、7日（水）に開催されました。テーマは「がんゲノム医療～遺伝性腫瘍について～」でした。講師は、がんゲノム・遺伝子診療室長の中村絃子先生です。

1. がん発症のしくみ

ほとんどのがんは、喫煙や生活習慣、加齢などが原因となり、正常な細胞内の特定の「体細胞」の遺伝子が後天的に変化（変異）することによって、がん細胞が発生します。がんが進行していく際には、がん細胞においてのみ生じたこの遺伝子変異が、進行・増殖のもととなると考えられています。このようながん細胞にだけ起きた遺伝子変異は、次の世代に遺伝するものではありません。

一方、生まれもった遺伝子の違いが原因で「がん」になりやすい体質を持っている場合があります。がん全体の5%程度といわれ、このような「がんになりやすい体質」は「遺伝性腫瘍」として、次の世代に受け継がれる可能性があります。

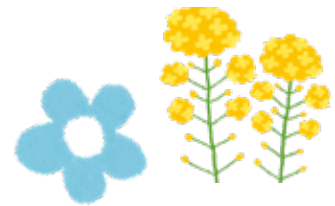


2. がんゲノム医療とは

がん細胞のゲノムを調べて、どの遺伝子に変化が起きているのかを知り、それぞれの患者さんのがんがどのような性質のがんなのか、どのような治療法が適しているのかを選択していくのが、がんゲノム医療です。

その検査方法として「がん遺伝子パネル検査」が行われるようになっていきます。患者さんのがん組織や血液を使って遺伝子の変化を調べ、効きやすい薬がわかる事があります。しかしながら、がん遺伝子パネル検査を受けても治療につながる情報が得られないことがあります。現時点で、検査を受けて治療につながる割合は約10%と報告されています。がん遺伝子パネル検査では多くの遺伝子を調べるため、本来目的とする個別化治療とは別にがんになりやすい遺伝子をもっていること

がわかる場合があります、これを二次的所見といいます。この場合、将来の健康に対する不安が生じる可能性があります。もちろん、もともと調べたいがんのこと以外（遺伝性のがんなど）は、たとえ見つかったとしても結果を聞かなくても構いません。結果を聞く場合にも、十分な理解ができるように、遺伝に関する相談の体制が整備されています。



3. 遺伝性腫瘍

遺伝性腫瘍の特徴としては、

- 比較的若い年齢でがんを発症
- ひとりで複数のがんを発症
- 2つある臓器の両方にがんを発症
- 家系内に特定のがんを発症した人が複数いる
- 遺伝性腫瘍に特徴的ながんの発症（卵巣がん、男性乳がん、甲状腺髄様がん、副腎皮質がん、骨肉腫など）

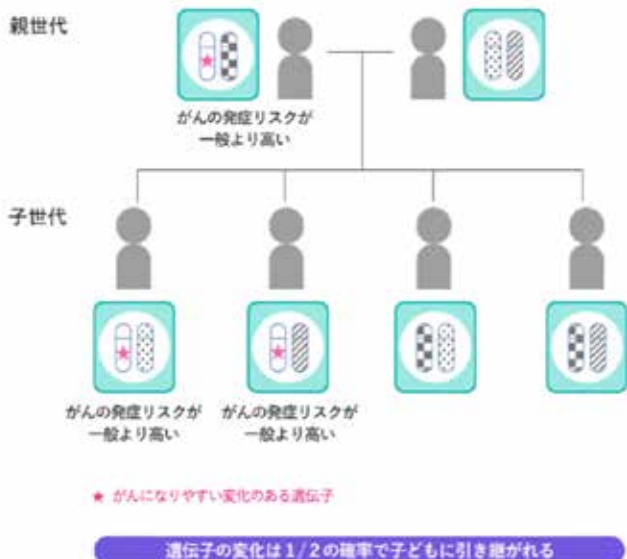
等があります。

具体的な遺伝性腫瘍としては、

- 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群（HBOC）
- リンチ症候群
- 家族性大腸腺腫症（家族性大腸ポリポーシス）
- 多発性内分泌腫瘍1型/2型
- 遺伝性網膜芽細胞腫
- リー・フラウメニ症候群
- カウデン症候群

などで、多くの遺伝性腫瘍は常染色体顕性遺伝（優性遺伝）であり、50%の確率で子供に引き継がれます。





HBOCでは膵臓がん、前立腺がんなどの発症リスクも上昇するため、膵臓がんでは磁気共鳴胆管膵臓造影検査（MRCP）や超音波内視鏡検査（EUS）、前立腺がんではPSA検査によるサーベイランスが行われます。

<MRCP（MRI）>

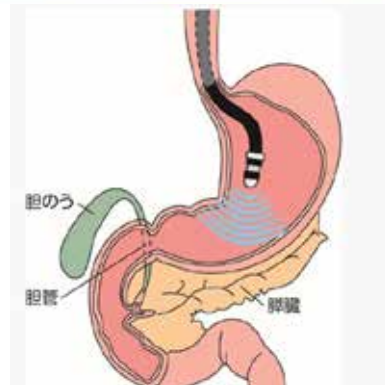


4. 遺伝性乳がん・卵巣がん症候群

乳がんや卵巣がんの中には、生まれつきの遺伝子の変化が原因となる「遺伝性乳がん卵巣がん（HBOC）」と呼ばれる体質があります。乳がんでは全体の4～5%、卵巣がんでは全体の10～15%がHBOCであるといわれています。HBOCには「若くして乳がんになりやすい」「乳がんにも卵巣がんにもなりやすい」などの特徴があります。原因は主にBRCA1/2遺伝子の変化（バリエーション）とされ、HBOCの診断は血液検査によりBRCA1/2遺伝子病的バリエーションの有無を確認します。

HBOCと診断された場合、すでに乳がんや卵巣がんを発症していればその治療（手術療法や薬物療法）が行われます。がんを発症していない部位には、発症予防（リスク低減手術）・サーベイランスが行われます。

<EUS>



5. 最後に

HBOCに対するリスク低減手術、サーベイランスは当院でも行っております。遺伝性腫瘍についてのご相談窓口は、がん相談支援センターとなっておりますのでお気軽にお声がけください。



乳房に対するがんの予防・検査

リスク低減手術
● 乳房切除
(+ 乳房再建)

サーベイランス
(定期的かつ精密な検査)
● 乳房造影MRI
● マンモグラフィ

卵巣に対するがんの予防・検査

リスク低減手術
● 卵管・卵巣摘出

サーベイランス
(定期的かつ精密な検査)
● 経膈超音波検査
● 腫瘍マーカーの測定

HBOCの診断

【事前申し込み・お問い合わせ先】
呉医療センター・中国がんセンター
がん相談支援センター
☎ : 0823-24-6358
(直通電話)
平日: 9時～16時

寄稿: がんゲノム・遺伝子診療室長
中村紘子先生
編集: がん相談支援センター

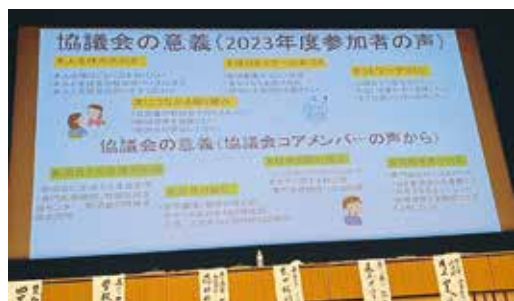
第55回 広島県断酒（呉）大会へ参加しました！

去る6月8日（日）に広島県断酒会連合会が主催する「第55回 広島県断酒（呉）大会」へ参加しました。当日は断酒会会員の方々のみならず、行政・医療・福祉関係者等含め、約380名の参加があり、会場である新日本造機ホールにも熱気が溢れていました。

午前中は断酒会会員より体験発表を中心に構成され、改めてアルコールの問題は心身への影響のみならず、家庭不和や離職等への社会的リスクへも密接な関連があること、そのため関連領域相互の連携が必要であることが再認識できました。午後は呉市及び江田島市で2017年から協議を進め、2019年に広島県事業である精神障害者地域生活支援推進事業の一環として活動している呉圏域アルコール健康障害対策協議会の委員でシンポジウムを行いました。各シンポジストからは、「アルコール問題で困っている人や、今から困るかもしれない人に対して理解のある地域づくりが必要」、「断酒会の皆さんと支援者とが対等に相談し合える関係づくりが大切」、「他者をつなげようとする前に支援者自身がつながりを持ちたい」等、連携の本質に関連した意見が多く聞かれました。参加者の皆さんからも呉圏域の取り組みを参考に県内各地域で取り組みたいといった感想もありました。

今後もこのような地域連携づくりに携わり、微力ながら行政施策でも提言されている「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に貢献できればと考えています。

文責：ソーシャルワーカー 菰口 陽明



連携病院紹介



● 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 ●
広島県済生会 済生会呉病院



● 独立行政法人 労働者健康安全機構 中国労災病院 ●



● 国家公務員共済組合連合会 ●
呉共済病院



● 医療法人社団 永楽会 前田病院 ●



● 医療法人社団 中川会 ●
呉中通病院



● 医療法人社団 大谷会 島の病院おおたに ●



● 医療法人社団 ひかり会 木村眼科内科病院 ●

【紹介予約専用電話】のお知らせ

外来紹介予約に関するお問い合わせ

地域医療連携室直通

TEL : 0823-22-3816

FAX : 0823-32-3070

その他のお問い合わせ

病院代表電話

TEL : 0823-22-3111

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

救急外来
受付直通

TEL : 0823-23-1020

FAX : 0823-21-7474



7月の時間外 研修会／勉強会

〔連絡先〕

独立行政法人国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 管理課 原務係（教育企画部）
広島県呉市青山町3番1号／TEL:0823-22-3111／ホ-ル-ジ* : https://kure.hosp.go.jp



研修会名	日 時		場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外	対象職種
消化器合同オープンカンファレンス 肝・胆・膵及び上部下部消化管を対象疾患とし、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	7月2日	(水) 18:00～	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
TCSA勉強会 「救急領域における栄養管理」 「PEG造設方法について」 PEGカテーテルの種類について」	7月7日	(月) 18:00～19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター 救命救急センター一部長 岩崎 泰昌 内視鏡内科医師 鎌田 大輝	栄養管理室	○	全職種
地域医療研修センター特別講演会 「肺癌に対する手術治療」	7月9日	(水) 18:30～19:30	地域研修センター 1・2	広島大学 原爆放射線医科学研究所 腫瘍外科 教授 岡田 守人 先生	管理課	○	全職種



自己研鑽で専門性を高めましょう！！

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

地域医療連携室

久保田益恒

吉田 成人

西岡 初子

折本 陽一

片山 千雪

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

(紹介予約専用電話)

TEL: (0823) 22-3816 FAX: (0823) 32-3070